

インシデントと アクシデントの 違いについて

2022年度第2回(2023年2月)

医療安全委員会 オンライン研修

インシデント
ヒヤリ・ハット
アクシデント
医療事故

これらの違いわかりますか？

インシデント＝ヒヤリ・ハット

アクシデント＝医療事故

という理解で基本的にはOKです。

インシデント・アクシデントの患者影響度分類

	影響 レベル	傷害の 継続性	傷害の 程度	内容
インシデント	0			エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
	1	なし	実害なし	何らかの影響を及ぼした可能性はあるが、実害はなかった
	2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（バイタルサインの軽度変化、観察の強化、安全確認の検査などの必要性は生じた）
	3	3 a	一過性	中程度
3 b		一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）
アクシデント	4	永続的	軽度 ～高度	永続的な障害や後遺症が残存（有意な機能障害や美容上の問題は伴わない場合、伴う場合の両者を含む）
	5	死亡		死亡（現疾患の自然経過によるものを除く）

インシデント(ヒヤリ・ハット)

患者へ傷害を及ぼすことはほとんどなかったが、医療有害事象へ発展する可能性を有していた潜在的事例をいう。

(1)医療行為が患者へは実施されなかったが、仮に実施されたとすれば、何らかの傷害が予測された事象、

(2)患者へは実施されたが、結果として患者へ傷害を及ぼすには至らなかった不適切な事象、

(3)結果として比較的軽微な傷害を及ぼした事象

インシデント・アクシデントの患者影響度分類では、0～3aが対象となる。

アクシデント（医療有害事象、医療事故）

医療の過程において、不適切な医療行為（必要な医療行為がなされなかった場合を含む。）が、結果として患者へ意図しない傷害を生じ、その経過が一定程度以上の影響を与えた事象をいう。

インシデント・アクシデントの患者影響度分類では、3b～5が対象となる。

インシデントとアクシデントの境目は？

3a(簡単な処置)か

3b(濃厚な処置)か

ということになりますが、

簡単な処置の具体例:

消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など

濃厚な処置の具体例:

- ・バイタルサインの高度変化
- ・人工呼吸器の装着
- ・手術
- ・外来から入院
- ・入院日数の延長
- ・骨折など

インシデントを起こした場合は
インシデントレポートを、

アクシデントを起こした場合は
医療事故報告書を、

原師長までご提出お願いいたします。

2/16の医療安全委員会にて、インシデントレポートを院内統一で新様式にすることを決定しました。

各部署で新様式の紙（あるいは元のwordファイル）の保存をお願いいたします。

※原師長もしくは山本が持っております

お疲れさまでした。

アンケートのご提出をお願いいたします。